

コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	753 園管理経費	会計	01	一般会計
		款	10	教育費
		項	04	幼稚園費
		目	01	幼稚園費
基本 施策	31 個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	細目	426	園管理経費
		細々目	01	園管理経費
行革大綱の重点事項番号				
担当部課	コード	450100	担当者	22 - 9675
	名称	教育総務課	氏名	福岡香穂 連絡先 (内線) 3810

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	伊賀市立幼稚園 ※対象件数 180人
成果(どうする)	安全、快適な状態に保ち、教育活動が支障なく行われる。利用者の安全確保や、快適な教育環境の提供が得られる。
根拠法令・要綱等	
開始年度	平成 年度
終了年度	平成 年度
H21 事業 内容	1. 幼稚園の管理運営
	2. 幼稚園教員研修旅費
	3. 園児用図書整備
	4. 幼稚園用務員の雇用
	5. 施設の維持管理経費
社会情勢 の変化等	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積 (延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
遊具の保守点検	回	回	目標 2	目標 2	1	1
			実績	実績 1		
樹木選定	回	回	目標 2	目標 2	1	1
			実績	実績 1		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
園児一人当たりの管理経費	分子:管理経費 分母:園児数	円	目標 70000	目標 70000	64372	64000	
			実績 90569	実績 95165			
			目標	目標			
			実績	実績			

投入コスト	H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求
直接事業費計(A)	15,578	15,512	11,587	11,590
Aの 財源 内訳				
国庫支出金	52	52	152	152
県支出金				
地方債				
その他	1	1	5	5
一般財源	15,525	15,459	11,430	11,433
事業投入人件費(B)	0.1人	0.1人	0人	0人
フルコスト(A)+(B)	16,298	16,232	11,587	11,590

事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律で実施が義務付けられている事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事務事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
有効性	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補充する事業	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補充・先導する事特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
達成度	国や県、民間が同様のサービスを提供している。	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している。	
効率性	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない。	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
効果性	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響は大きい。	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
改善策	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
昨年度 の取組状況	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
	当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
今後の方向性	予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
評価者氏名 (担当課長)	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
事業の方向性	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	○
現時点における課題、その他に対する改善策	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	園児の安全対策は十分に対応していかななければならないが、二園統合が予定されていることから、修繕や維持管理経費については出来るだけ必要最小限にとどめている。
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	
昨年度の取組状況	平成22年4月統合幼稚園桃青の丘幼稚園開園

今後の方向性(Action)

評価者氏名 (担当課長)	伊室春利
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	需用費等で経費の削減を行っており、現状のまま事業を継続することが妥当である。
現時点における課題、その他	適正な配当を行っているが、臨時的な経費の支出が毎年起きてくる。
課題、その他に対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	*安全・安心な教育環境を確保していくためには、適正な維持管理を図っていく必要があり、施設・設備については、年次計画をたてていく。